

# 防犯活動は

# 地域の力で

「まちの安全ひろげたい」の活動が全市へ広がっています



子どもたちに声を掛けながらパトロール(亀里町阿内宿)

あなたは毎日の暮らしを安心して送っていますか。近年、身近な地域にも犯罪の手が忍び寄り、わたしたちの生活を脅かそうとしています。こうした今、自主的な防犯活動「まちの安全ひろげたい」がスタート。この取り組みについて、生活課で話をお聞きするとともに、各地域の活動状況をレポートしました(担当は市民編集委員・杉山三輪)。

問い合わせは広報広聴課 8906642へ。

## 防犯意識の低さが犯罪増加に

前橋警察署、前橋東警察署管内の犯罪状況は、平成九年度が三千五百四十九件。それが昨年度は六千八百六十六件と一・九倍にも達しました。一方、検挙件数は平成九年度の二千二百二十五件(検挙率五三・九%)が、昨年度は千七百三十六件同(五・三%)と低くなったそうです。

特に、昨年十二月五日に、女子中学生が通り魔による被害を受けるなど、今年になってからも、事件が続発していました。皆さんも日常生活に不安を感じているのではないのでしょうか。

こうした背景には、市民自らの防犯意識の低下があります。家庭・学校・地域社会で犯罪を防ぐ力が弱まっていることから、警察活動だけでは十分に対応できなくなってしまったのです。

今、犯罪を減らすためには地



ひろげたい第1回説明会に多くの人が

域・警察・行政とが密接に連携して取り組むことが大切。自治会やPTA、防犯団体、老人クラブなどでも、自主的な防犯活動の輪が広がってきました。こうした地域活動に対し、市も積極的な支援を行っています。

## 地域社会での

## 自主活動が大切

そこで、自治会や防犯団体、学校・PTA、事業所、警察などで組織する「まちの安全市民連絡会議」が六月十二日に発足。互いに連携し合い、安全、安心な地域社会の実現に向けて取り組みを開始しました。地域における犯罪・事故などを未然に防ぎ、市民生活の安全を守るため「地域の安全は地域住民自ら守る」という意識が基本です。

さらに、こうした活動を広げようと「まちの安全ひろげたい」第一回説明会が、七月十四日に総合福祉会館で開催されました。これは各自治会ごとに二人を推薦して登録。この二人を中心に地域の防犯パトロールなどをします。市や警察とのパイプ役となつて、地域の人たちや既に活動を行っている関係団体(PTA、防犯団体、青少年補導推進員など)や自治会との間で活動を展開中です。

皆さんもそれぞれの立場で、防犯活動に参加しませんか。